

一般国道2号 岩国・大竹道路

トンネル技術検討委員会

—第1回—

1. 技術検討委員会の目的及び審議・検討事項 1
2. 岩国・大竹道路の事業概要及びトンネル計画概要 3

令和3年2月3日

検討委員会の目的

委員会は一般国道2号岩国・大竹道路の山手トンネル（仮称）において、地表面影響を考慮した、トンネル構造及び施工方法について、公平・中立な立場で客観的データに基づき、科学的に審議し、山口河川国道事務所に対して、専門的な意見・助言を行うことを目的とする。

審議・検討事項

- 1) 地質調査等の結果整理・評価
- 2) トンネル施工に伴う地表面沈下の解析
- 3) トンネル構造及び施工方法
- 4) トンネル施工時の地表面影響の計測方法
- 5) トンネル施工後の地表面影響の計測方法
- 6) その他、委員会が必要と認める技術的事項

今回の審議・検討事項

1. 地質調査等の結果整理・評価（資料１－２）
 - （１）地質調査概要
 - （２）水文調査概要

2. 今回の審議結果及び次回の検討事項の確認（資料１－３）
 - （１）審議結果（まとめ）
 - （２）検討事項の確認

1.トンネル概要

(1) 事業概要・トンネル諸元



図 1-1 位置図（広域図）

■事業概要

一般国道2号岩国・大竹道路は、現道部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流の支援を目的とした広島県大竹市小方一丁目と山口県岩国市山手町を結ぶ延長9.8kmのバイパスである。

■事業経緯

都市計画決定	広島県	平成12年8月
	山口県	平成12年9月
事業化年度	平成13年度	
用地着手年度	平成15年度	
令和2年度の事業内容	調査設計、改良工事等を推進	

■山手トンネル諸元

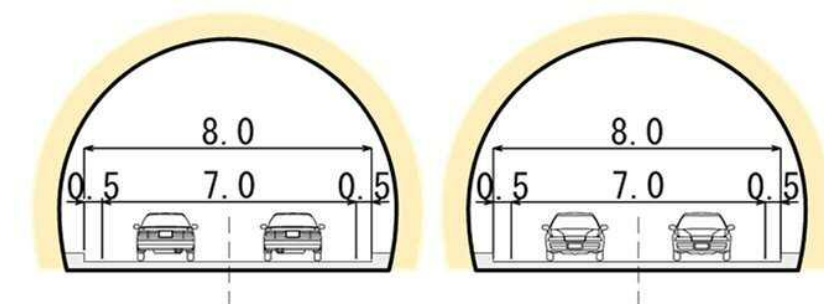
区 間	室の木IC～山手IC
道路規格	第3種第1級
延 長	約600m
車 線	4車線（片側2車線）
防災等級	B等級



図 1-2 位置図



■山手トンネル標準断面図



※資料中における、事業中箇所 の 構造物及びインターチェンジの名称は仮称

1.トンネル概要

(2) 平面計画

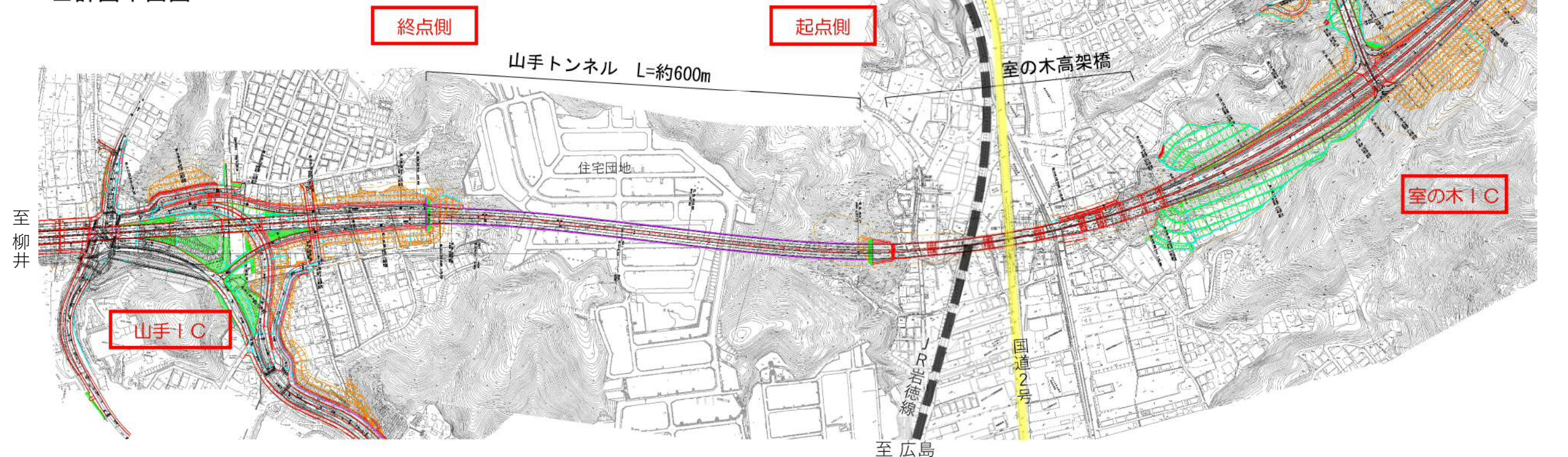
■都市計画図



出典：岩国市ホームページ いわくにマップ（都市計画情報）
<https://www2.wagmap.jp/iwakuni/Porta>

- 山手トンネルは、室の木ICを起点側、山手ICを終点側とする約600mのトンネル計画である。
- 完成4車線（1方向2車線）の近接トンネルである。
- 起点側坑口は、JR岩徳線をまたぐ 室の木高架橋が計画されている。
- 終点側坑口部は、山手ICランプ分合流がトンネル内に計画され拡幅断面となっている。

■計画平面図



1.トンネル概要

(3) 縦断計画

- 縦断線形は起点側から終点側に排水勾配（0.37%）を確保する計画
- 住宅団地の約40m下をトンネルが通過する計画

縦断図

